



5

### 短い年代記

#### ネズミだ!

**総** 督領は今日も平和だった。城は住んでいて楽しいところだった。隣人たちも愉快に過ごしていて、問題は何もなかった。だが、数匹のネズミが貯蔵庫の暗闇で悪さを始めた。それはそれほど重大なことではなかったが、用心のために、ただちにこの件に対処することにした。

❖ 即時アクション ❖

ネズミの根絶を確認するため、あなたは城に行く。

成功：あなたの戦略的思考のおかげで、まだ多くのネズミは残ってはいるものの、ネズミたちの大半を取り除くことができた。

失敗：ネズミたちに圧倒され、あなたは惨敗した。



## もういやだ!

**努**

力して駆除したはずが、ネズミたちは野火のように増え続けた。夜には、走り回る爪の音が城中に絶え間なく響き、誰もぐっすり眠れない。あなたはネズミを駆除するという問題に取り組むことにした。

すべてのレンジャーは1♥を失う。

任意の👉を1個捨てる。  
それができない場合は、1👉を失う。

## ❖ 即時アクション ❖

2人のレンジャーは、ネズミに対する作戦に参加し、その駆除の監督をしなければならない。

それぞれ技能判定を行い、それぞれ次の効果を適用する。

成功：ステータス置き場に1✔を配置する。

失敗：なにも起こらない。



2

## 毒だ!

## 事

態を重く見た行政官は、害虫との戦いについて、危機管理対策会議を招集した。罨は準備され、城門は固く閉ざされた。た。皆はネズミを閉じ込めるよう、言い含められた。

## ◆ 即時アクション ◆

すべてのレンジャーは城に行く。

## ◆ 即時アクション ◆

レンジャーの1人は、罨の設置の監督をしなければならない。



成功数 2：ステータス置き場に1✓を配置する。

成功数 0～1：そのレンジャーは1罨を失う。

## ◆ 即時アクション ◆

他のレンジャー1人は、ネズミ取りを仕掛けねばならない。



成功数 2：ステータス置き場に1✓を配置する。

成功数 0～1：そのレンジャーは1罨を失う。

3

## 笛吹き男が来た!

## 城

の中では皆がビリピリしていた。そのとき突然、城門に放浪の笛吹き男が現れた。笛吹き男は、彼の音楽でネズミどもを永久に追い払うことができる、と主張した。もちろん、カネを積んでくれるならば、だが。

## ◆ 期間アクション ◆

年代記カードがめくられるまで

笛吹き男にカネを支払う。



レンジャーの1人が笛吹き男に2●を支払う場合：以降の年代記カードBを取り除く。



笛吹き男にカネを支払う前に、年代記カードがめくられたら：以降の年代記カードAを取り除く。





4

### 罾にかけた!

**笛** 吹き男の吹く笛のメロディは、城の中心に木霊していった。彼が演奏していると、彼の周囲に大量のネズミが群がってきた。さて、ここでレンジャーたちがしなければならないことは、この小さな集団を出口へと導くことだ。

◆ が0だった場合：敗北

敗北でない場合： ◆ 即時アクション ◆

各レンジャーは、ネズミの群れを出口まで導かねばならない。

得た ◆ の数により、必要なレンジャーの数と成功数が異なる。

- 3 ◆ : 1人のレンジャーが、成功数2を得なければならない。
- 2 ◆ : 2人のレンジャーが、それぞれ成功数2を得なければならない。
- 1 ◆ : 2人のレンジャーが、それぞれ成功数3を得なければならない。

1 ✓ を支払うたびに、ダイスを1回振りなおせる。

技能判定に成功した場合：勝利  
そうでない場合：敗北



5

### 制圧せよ!

**ネ** ズミどもが、そこら中にいる! 城の至る所が、奴らであふれ返っていた。そこで、奴らを煙でいぶし出すことに決めた。脱出路をたった一つだけ残しておく。それは真つぐ川に向かう道だ。ここに残るのは、俺たちか奴らのどっちかだ!

◆ 即時アクション ◆

レンジャーの1人は、複数の発煙弾に火をつけねばならない。

成功数3が必要。

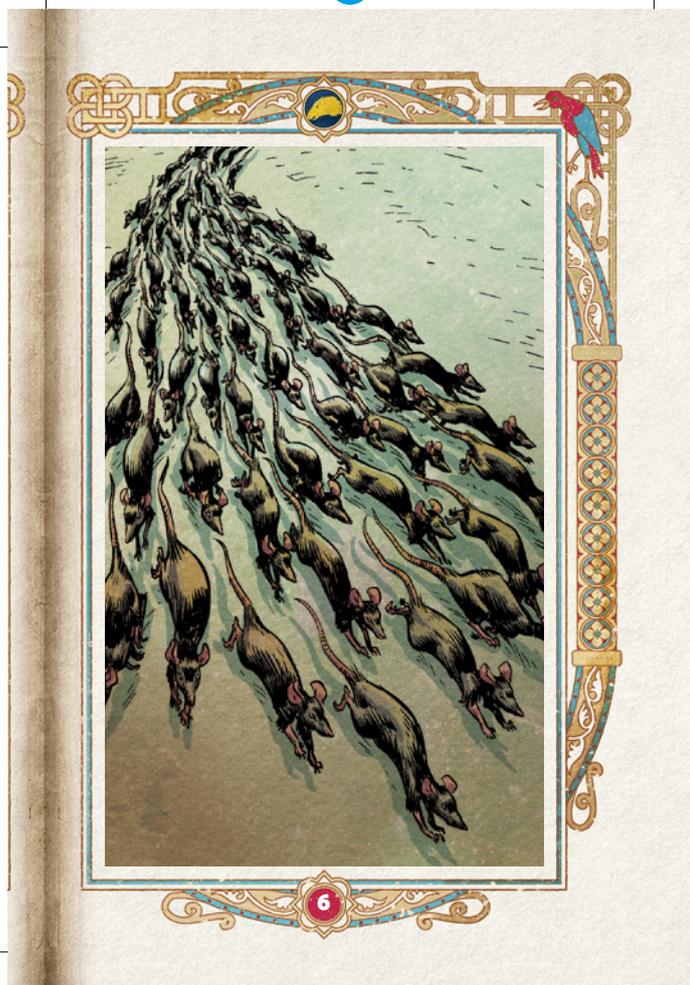
他のレンジャー1人は、群れを食い止めねばならない。

成功数3が必要。

上記2種類の判定のどちらか片方(任意。ただし両方の判定でダイスを振ったあと)では、各 ◆ ごとに成功数1を得る。

1 ✓ を取り除くたびに、ダイスを1回振りなおせる。

両方の判定に成功した場合：勝利  
そうでない場合：敗北



## 勝利

**敵**

しい戦いだった。しかしあなたは愚かなネズミどもが、この城内を支配するのを許せなかった！ あなたは奴らを追い出したのだ。ブラボー！

6



## 敗北

**最**

悪だ！ 努力の甲斐なく、ネズミにすべてを奪われた。奴らの力により、城から追い出されたのだ。この最悪な状況を上司に報告しなければならない……。

おわり

7



年代記デザイン  
ブルーノ・グブ

イラスト  
ジェホーム・ルフキュレ

カラライゼーション  
アルベルティン・ハランティ